

# 代表質問通告書

平成26年3月定例会

1番 会派 進化 伊藤 實 議員

1 市長の基本姿勢について

- (1) 平成26年度施政方針に「市民の皆さんに対して、公正公平な姿勢を堅持し」とあるが、その基本姿勢がどのような形で市政運営に反映されているのか。具体例は何かあるのか。
- (2) 「財政規律の健全化を常に心がけ」予算の執行に際しては「最小の経費で最大の効果を挙げる」とあるが、何をもって「健全化」といい「最大の効果を挙げる」というのか。

2 まちづくりの基盤整備について

- (1) 来年度中に新病院が完成するが、その果たすべき役割が明確でなく、未だ医師の確保も予定数に達していない。病院事業収支計画も財務的に厳しい状況が想定されることも含め、見直しを示された。ずばり新病院の役割は何か。経営健全化のためにどのような具体策があるのか。
- (2) 学校給食施設の方式については市民からの意見が様々で、多くのパブリックコメントが出されている。これに対する回答を公表し、説明責任を果たさないまま1センター方式の議案を上程することは、「市民が主権者である」という基本姿勢に真っ向から反するのではないのか。また、建設費の差額約6億円があれば他の事業に取り組むことができるから1センターという論法は、いささか乱暴ではないのか。

3 楽しく躍動感あふれるまちづくりについて

- (1) 「若者を含む交流人口や、更なる転入促進に役立てて」とあるが、何が交流人口の増加や転入促進に役立つと考えているのか。
- (2) 観光や文化・スポーツといった分野については「活力と躍動感あふれる未来へのビジョンを、市民のみなさまとともに考え」とあるが、ずばり市長のビジョンは何か。

4 産業の活性化によるまちづくりについて

- (1) 「このまちの魅力を再認識すると共に、積極的な情報発信による交流人口の増加に努めて」とあるが、このまちの魅力とは何か。定住人口の増加についてはどのように考えているか。
- (2) オートレース事業の包括的民間委託については、日本トーターとの交

渉が決裂し、日本写真判定と契約を締結する運びとなったが、いまだ複数年契約と最低保証金の内容が明らかでない。契約の内容はどうか。将来構想についてどのように考えているのか。

## 2番 会派 市民クラブ 矢田松夫 議員

### 1 組織基盤について

#### (1) チーム市役所の現状を問う。

「チーム市役所」として行政組織内の一体感の向上とあるが、具体的なイメージがわからないが、どのような形態を想定しているのか。「行政としての新たな挑戦」とあるが、どうした戦略をたて、市制に反映させるのか。

#### (2) 成長戦略室の目的を問う。

成長戦略室に4つの業務を所管させることとしているが、具体的な内容を示してほしい。また、文化・スポーツ関連は、教育委員会での業務をそのまま引き継ぐのか。発展させないと意味がないと思うがいかがか。また、成長戦略業務の具体的事案等を示してほしい。

### 2 産業の活性化について

#### (1) 観光課設置の起爆剤は何か。

観光課の新設によりどのような資源を題材として観光に特化したまちづくりをするのか。また、観光を本市の活性化にどう結びつけるのか。加えて近隣市との連携強化をどう考えているか。

#### (2) 観光ビジョンの戦略目標を問う。

観光振興ビジョンの策定とあるが、策定主体はどこで、また、ビジョンの戦略目標をどう考えているか。

### 3 活力にみちたまちづくりについて

#### (1) 10周年記念イベントの意義を問う。

10年が経過した今日も一体感の醸成が図られていないと思うが、今後の意気込みはいかに。

## 3番 会派 誠風 笹木慶之 議員

### 1 財政基盤の確立

(1) 将来にわたって安定した行財政運営を確保するには、財政規律の健全化を遵守することが地方自治の原点だと思う。そこで、財政計画と基本計画・実施計画及び予算編成の在り方について伺う。

(2) 政策は、事業の「選択と集中」を徹底されていたようだが、その具体的対応について伺う。

## 2 成長戦略について

- (1) 政策として捉えたとき、「新たな挑戦」「可能性の追求」を期待するが、その目指すものは何なのか具体的に伺う。
- (2) 「当面の行政課題及び市長の特命事項」とあるが、その具体的内容について伺う。

## 3 少子・高齢化対策について

- (1) 「少子化対策として、子育て支援計画の推進」とあるが、これまで行ってきた主な施策の効果と今後の対応について伺う。
- (2) 「高齢者福祉計画の策定を通じた更なる地域福祉の充実が必要」とあるが、基本的な考え方について伺う。その中で生涯現役・「光齢者」を誰もが望んでいるはずである。その施策を伺う。

## 4 産業の活性化について

- (1) 「農林水産業の基盤整備を図る」とあるが、そのうち林業の施策について伺う。
- (2) オートレース事業については、「市民の福祉の向上に寄与する地域公益事業と位置づけ、新たなパートナーと共に事業の活性化に努めます。」とあるが、極めて深刻かつ重要なときにあり、その対応は特に慎重な対応と英知を結集した対策が必要である。これが対応について伺う。

## 4番 会派 改進黨 河崎平男 議員

### 1 まちづくりの基盤整備について

#### (1) 学校給食施設について

共同調理場1カ所にされたことについて建設にあたって整備された内容はどのようなものか。また、総務文教常任委員会で懸案事項として請願の継続審査中にもかかわらず、議案上程され、早急に取り組みられる理由について見解を問う。

### 2 暮らしの安心を守るまちづくりについて

- (1) 女性の活躍を支援するための具体的な取り組みについて見解を問う。
- (2) 公共交通体系のデマンド交通導入について今後のスケジュールなど、どのようなになっているのか見解を問う。

### 3 楽しく躍動感あふれるまちづくりについて

- (1) 10周年記念事業実施について、庁内プロジェクトか、市民参加による実行委員会形式で実施されるのか見解を問う。
- (2) スポーツ推進計画とは、どのようなものか見解を問う。
- (3) 成長戦略室は、スポーツ、文化など専門的部署であり、専門職員または専門指導員を配置するのか見解を問う。

#### 4 産業の活性化によるまちづくりについて

- (1) 農林水産業の基盤整備を図る具体的な本市の進行計画はあるのか。また、今後の農政改革に対応するためには、本市の取り組みや地域農業の確立を図るためにも農業振興ビジョンの策定が必要と考えるが見解を問う。
- (2) オートレース事業実施にあたって、これからの課題は何か。また、オートレース事業の将来ビジョンは縮小か、維持か、拡大か見解を問う。

#### 5 財政状況について

- (1) 平成26年度予算案について過去最大規模での本市まちづくりの諸施策に取り組まれるが、税収の伸び悩み、減少傾向にある中、歯止めをかける方策についての見解を問う。

### 5番 会派 日本共産党 中島 好人 議員

#### 1 学校給食施設について

市民が主権者と言いながら、学校給食は、現在の小野田での親子方式、山陽での自校方式をやめ、なぜ、5,000食もの給食を1カ所で作る給食センターなのか。この方式を保護者や市民が望んでいることなのだろうか。そうではないと私は言い切れると思うがどうか。

#### 2 「成長戦略室」について

「成長戦略室」は硬直化した行政組織の打開策か。設置の背景にあるものは何か。トップダウンをやりやすくする機構再編は、市民が主役の「まちづくり」に逆行しないか。市長の考えを問う。

#### 3 中小企業支援について

企業誘致一辺倒の産業政策ではなく、地元中小企業の振興で活力ある地域づくりの施策を講じるべきではないか。“官製ワーキングプア”をなくすために地方自治体が契約する公共工事や委託事業に従事する労働者の賃金が標準的な賃金を下回らないように規制する公契約条例の制定をすべきである。